

(病院名)

(発表者名) 様

第38回大分県病院学会 演題番号通知

ご登録いただいた演題は口演発表に決定いたしました。 **演題番号：** E**

*演題番号先頭のアルファベットは発表会場、2・3番目の数字は発表順を示します。

*演題番号通知書類の到着確認も兼ねておりますので、同封の連絡票を必ずFAXにて9月1日(火)までにご返信下さい。またメールでのご提出も可能ですので、その場合は連絡票の下部をご参照下さい。

1. 発表までの準備について

(1) 登録内容の確認

同封のプログラム(案)にて発表会場と発表順番、記載内容をご確認下さい。変更等がありましたら、連絡票の「その他連絡事項等」欄にご記入下さい。

(2) 発表準備

発表原稿は8分でご用意ください。口演発表は原則マイクロソフトパワーポイント(以降PPTで表記)を使います。下記の規定に沿って作成して下さい。

(3) 事前参加登録の申込

発表者も参加登録が必要です。 会員病院を通じて事前参加登録をして下さい。事前参加登録をお申込みいただかないと、抄録は届きません。

病院付属施設(クリニック等)に所属の方は、貴院のご担当様へご確認をお願いいたします。

(4) 参加証・抄録集受取

学会開催1か月前に会員病院様へまとめて抄録集を送ります。抄録集を受け取られましたら、ご自分の掲載事項や発表時間帯などの確認をお願いします。また、今後の予定は抄録集の「学会参加の皆様へ」の頁でもご確認下さい。

(5) PPTファイルの作成について

① PPTのデータについて

原則としてバージョン2010以降(拡張子.pptx)にて作成して下さい。 それ以前のバージョン(97-2007)での提出も可能ですが、その場合は互換モードでの動作となりますことをご了承下さい。

② スライドのサイズについて

スライドサイズは標準(4:3)をお願いします。 スライドサイズがワイド画面(16:9)の場合、スライドの周囲が切れてしまう場合がございますのでご注意下さい。

③ 動画について

原則不可。事務局までお問い合わせ下さい。

(6) PPT事前提出について

① 提出期限 11月13日(金) 事務局必着

PPTスライドファイルは必ず事前に事務局までご提出下さい。会場パソコン(以下PC)に載せてご用意します。PPTを使用しない場合は、同封の連絡票にて事務局までご連絡下さい。

② 提出方法 (以下、***)は自分の演題番号を示します)

◎ Eメール添付の場合

[宛先] oha2@oitahospitals.jp

[件名] 学会PPT提出 演題番号:***

[本文] 病院名、発表者名、連絡先電話番号

[添付] ***.pptx (もしくは***.ppt)

- PPTファイルのサイズは3MB以内とします。PPT等の画像圧縮機能をご利用の上、PPTファイルのサイズをできるだけ3MB以内に収めて下さい。
- 容量が大きい場合はインターネットの大容量ファイル送信用サービスのご利用も可能です。
- 送信後2~3日経っても返信がない場合は、お電話にて事務局までご連絡下さい。

◎ 郵送、宅配の場合

- 提出メディアはCD-R、若しくはDVD-Rにてご提出ください。但し、汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行って下さい。なお、提出されたメディアの返却はいたしません。
- 封筒およびメディア本体に「学会PPT提出」「演題番号：***」を、さらに封筒に「病院名」「発表者名」を明記して事務局宛にお送り下さい。

2. 口演発表当日について

(1) 受付

8時から11時までの間にエントランス「発表者受付」にて必ずPPTの動作確認を行って下さい。**発表会場では動作確認はできません。**その後、「記章」をお受け取り下さい。受付時間に間に合わない場合は、11時までに大会本部までご連絡下さい。

◎大会本部 TEL 097-540-5526 (ショートメッセージサービスも可)

(2) PPT 差替え

受付時間内にUSBメモリー若しくはCD-R、DVD-Rで持ち込んだ場合のみ対応します。**発表会場では差替えできませんのでご注意ください。**USBメモリーについては、各自で必ずウイルスチェックを行ってからご持参下さい。CD-R、DVD-Rの場合は汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行って下さい。差替えにより発表時に不備が発生した場合等のトラブルには実行委員会では責任を負いませんのでご了承下さい。

(3) オリエンテーション

12時55分より会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、**必ずご出席下さい。**

発表の流れを次ページの「発表者 当日連絡事項」を元に説明しますので、こちらを必ずご持参下さい。

(4) 発表時間・発表形式

発表は8分、質疑を含めて10分です。進行は座長・進行係の指示に従って下さい。

PCを演台に設営していますので、発表者がPPTの操作をお願いします。補助が必要な場合は各自でご手配下さい。その際のPCの移動は座長による発表者紹介時間内に行ってください。

(5) リミタイマー (デジタル計時回線) について

発表進行はリミタイマーを使用し、座長・発表者へ時間を通知します。開始後7分で通知音(黄色点灯)、8分で通知音(赤点灯)にて合図します。

以上

《お問合せ先》 一般社団法人大分県病院協会 事務局
〒870-0100 大分市大字駄原 2892-1
大分県医師会館 5F
TEL:097-540-5526
FAX:097-540-5597
E-MAIL: oha2@oitahospitals.jp (学会)

発表者 当日連絡事項 (E会場：国際会議室)

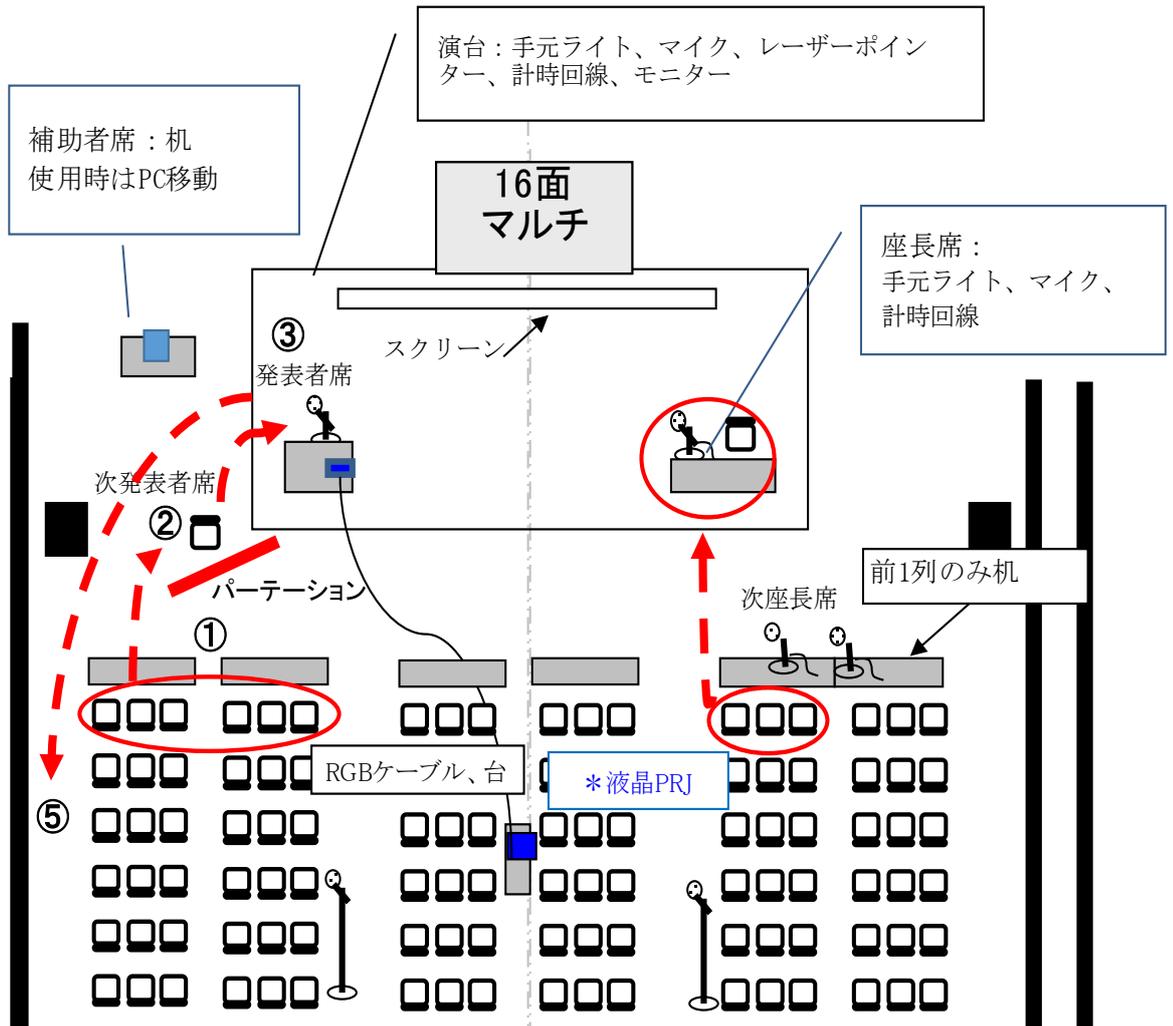
《連絡事項》

- ① 12時55分より発表会場にてオリエンテーション。会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、必ずご出席下さい。
- ② 開会式は13時10分、第1座開始時間は13時20分です。
- ③ PPTの動作確認は会場では出来ません。受付での確認が最後となります。
- ④ 『記章』は退会時にエントランスホール内の総合案内までご返却下さい。
- ⑤ 発表者席に消毒液を準備していますので、発表の開始前と終了後には手指消毒をして下さい。

《発表の流れ》

- ① 自座の開始時には会場内に着席（下図①参照）。
- ② 1題前の発表者の登壇時には、次発表者席へ（下図②参照）。
- ③ 座長が「演題」と発表者の「所属」、「氏名」を紹介するので、その間に登壇し、座長の開始の指示を待つ（下図③参照）。
- ④ 発表開始。質疑応答を含めて10分。リミタイマー：7分で通知音（黄色点灯）、8分で通知音（赤色点灯）。発表者の交代や抄録内容に訂正がある場合は、自分の持ち時間内に行う。
- ⑤ 質疑応答が終わり、座長の指示に従って降壇（下図⑤参照）。

9. E会場：国際会議室



一般演題プログラム

【 口演 E会場：国際会議室 】

分科会開会式 13時10分

演題 番号	登録 番号	【カテゴリ】 項目	演題 副演題	発表者 (職種) 会員病院名
オリエンテーション 12:55～13:05				
開会式 13:10～13:20				
1 座 13:20～14:10				
E01	108	【治療・リハビリテーション】 急性期	当院のアイシング方法と血栓予防への取り組み	羽野 裕介 (理学療法士) 五反田病院
E02	111	【治療・リハビリテーション】 急性期	当院で経験した大腿骨頭すべり症の一症例	矢野 輝 (理学療法士) 五反田病院
E03	109	【治療・リハビリテーション】 急性期	ガス壊疽治療における高気圧酸素治療	山口 喬 (臨床工学技士) 川島整形外科病院
E04	114	【治療・リハビリテーション】 急性期	リハ介入に難渋した症例にCOPMを用いた治療経験 ～希望する作業活動が機能向上に繋がった症例～	松木 和歩 (作業療法士) サンライズ酒井病院
E05	48	【治療・リハビリテーション】 回復期	やってみよう！入浴・更衣動作！ ～自助具を用いた一手法～	伊東 敦貴 (作業療法士) 今村病院
休憩 14:10～14:15				
2 座 14:15～15:05				
E06	6	【治療・リハビリテーション】 回復期	自発性の乏しい脳出血患者への関わり ～「できません」から「頑張ります」へ～	川辺 美里 (介護福祉士) 別府リハビリテーションセンター
E07	3	【治療・リハビリテーション】 回復期	メモリーノート活用に向けたチームアプローチ	宮垣 紗織 (看護師) 別府リハビリテーションセンター
E08	16	【治療・リハビリテーション】 回復期	頸髄損傷患者への障害受容に向けたチームアプローチ	小野 祐以 (看護師) 別府リハビリテーションセンター
E09	121	【治療・リハビリテーション】 回復期	高次脳機能障害患者への関り方についての現状把握	後藤 菊代 (看護師) 永富脳神経外科病院
E10	138	【治療・リハビリテーション】 回復期	情報共有の為の病棟ミニカンファレンスの導入	仲道 瞳和 (看護師) 佐賀関病院
休憩 15:05～15:10				
3 座 15:10～16:10				
E11	77	【治療・リハビリテーション】 回復期	ウエルウオークを導入した当センターの取り組み ～効果的な使用を目指して～	高倉 元 (理学療法士) 別府リハビリテーションセンター
E12	84	【治療・リハビリテーション】 回復期	排泄の自立度の改善に向けて ～回リハ病棟排泄チームの取り組み～	中園 和貴 (理学療法士) 佐藤第一病院
E13	119	【治療・リハビリテーション】 栄養	高齢者のサルコペニアに対するリハ栄養アプローチ ～早期に他部門と連携しQOL向上に繋がった一症例～	宮津 悠 (理学療法士) サンライズ酒井病院
E14	115	【治療・リハビリテーション】 訪問リハビリテーション	訪問リハビリにおける主介護者の健康把握の必要性	吉田 涼子 (理学療法士) 明和記念病院
E15	12	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	重複障害者に対する長期的支援	上田 祐史 (理学療法士) 別府リハビリテーションセンター
E16	8	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	集団活動「井戸端会議の会」	宮内 咲子 (作業療法士) 別府湾腎泌尿器病院